



平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月8日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 丸栄

コード番号 8245 URL <http://www.maruei.ne.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 京極 修二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長 (氏名) 渡邊 克哉

TEL 052-264-1211

四半期報告書提出予定日 平成25年10月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第2四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|------|-------|------|-------|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年2月期第2四半期 | 12,220 | △3.4 | 186 | 74.5 | 140 | 274.7 | △5 | — |
| 25年2月期第2四半期 | 12,645 | △2.5 | 106 | △51.0 | 37 | △59.2 | △139 | — |

(注) 包括利益 26年2月期第2四半期 △1百万円 (—%) 25年2月期第2四半期 △145百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年2月期第2四半期 | △0.04 | — |
| 25年2月期第2四半期 | △1.07 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 26年2月期第2四半期 | 46,284 | 20,185 | 43.6 |
| 25年2月期 | 46,901 | 20,188 | 43.0 |

(参考) 自己資本 26年2月期第2四半期 20,185百万円 25年2月期 20,188百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年2月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 26年2月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 26年2月期(予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|------|------|------|-------|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 26,200 | 0.4 | 450 | 70.3 | 270 | 183.6 | 110 | — | 0.85 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|---------------|--------|---------------|
| 26年2月期2Q | 130,368,887 株 | 25年2月期 | 130,368,887 株 |
|----------|---------------|--------|---------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|-----------|--------|-----------|
| 26年2月期2Q | 497,939 株 | 25年2月期 | 486,597 株 |
|----------|-----------|--------|-----------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|---------------|----------|---------------|
| 26年2月期2Q | 129,876,897 株 | 25年2月期2Q | 129,886,938 株 |
|----------|---------------|----------|---------------|

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 9 |
| (5) セグメント情報等 | 9 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済対策や金融政策の効果などにより、企業業績や個人消費に持ち直しの動きが見られました。一方ではエネルギー価格の高騰をはじめ、海外情勢や新興国経済の動向などが引き続き景気を下押しするリスクとなっています。

こうした環境の中、当社グループの主たる事業分野であります百貨店業界におきましては、消費マインドの改善により、高級時計や宝飾品などの高額商品の販売に加え、猛暑に伴う夏物衣料や雑貨等の盛夏商材が好調な動きとなりました。しかしながら、円安による物価上昇や今後予定される消費税率の引き上げの影響を踏まえますと、先行きは依然不透明な状況にあります。

こうした状況下、当社は業績の向上に向け、主力でありますヤング・ニューキャリアゾーンの更なる強化を優先課題として捉え、売場の再構築に取り組みました。併せて、継続的な経費の節減や費用対効果の向上に努めるなど、経営効率の高い店舗運営体制の確立に注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループ売上高は122億2千万円(前年同期比96.6%)となりました。利益面につきましては、営業利益1億8千6百万円(前年同期比174.5%)、経常利益1億4千万円(前年同期比374.7%)となりましたが、特別損失として固定資産除却損1億4千1百万円を計上いたしました結果、5百万円の四半期純損失(前年同期は1億3千9百万円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[百貨店業]

百貨店業におきましては、会社設立70周年を記念し、新企画の各種物産展の開催や好評を博しております正月催事の「大黄金展」を夏にも開催するなど、積極的なイベント展開を図ってまいりました。また、前年導入しました丸善書店の集客効果や前倒しで4月より開催しましたビアガーデンも好調に推移するなど、集客力の強化と全館への波及効果による売上高の向上に努めてまいりました。

しかしながら、再構築中のヤング・ニューキャリアゾーンが伸び悩み、百貨店業の売上高は108億6千7百万円(前年同期比96.9%)となりました。利益面につきましては、徹底した経費管理と節減に努めた結果、営業利益8千2百万円(前年同期は営業損失3千3百万円)となりました。

[不動産賃貸業]

不動産賃貸業におきましては、空室率の低減に取り組みましたが、売上高は8億4千7百万円(前年同期比93.6%)、営業利益2億9千2百万円(前年同期比83.5%)となりました。

[その他]

その他におきましては、運送業、清掃業及び百貨店店舗内において友の会事業を運営しており、売上高は5億5百万円(前年同期比96.7%)、営業損失9百万円(前年同期は営業損失1千万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6億1千6百万円減少し、462億8千4百万円となりました。これは流動資産が1億1千4百万円、固定資産が4億9千7百万円、それぞれ減少したことによります。流動資産の減少については、受取手形及び売掛金が1億1千万円減少したことなどにより、固定資産の減少については、減価償却等により有形固定資産が1億9千万円減少したことなどによります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ6億1千2百万円減少し、260億9千9百万円となりました。これは流動負債が8億8千万円減少し、一方、固定負債が2億6千7百万円増加したことによります。流動負債の減少については、短期借入金が9億円減少したことなどによります。固定負債の増加については、社債が1億8千5百万円減少し、長期借入金が4億9百万円増加したことなどによります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3百万円減少し、201億8千5百万円となりました。これは主に四半期純損失5百万円を計上したことなどによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成25年7月2日に公表しました「平成26年2月期第1四半期決算短信」での第2四半期(累計)の業績予想と実績値に差異が生じました。詳細につきましては、本日、公表しております「平成26年2月期第2四半期の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、通期の業績予想につきましては、「平成26年2月期第1四半期決算短信」より変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成25年2月28日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,276 | 1,299 |
| 受取手形及び売掛金 | 560 | 450 |
| 商品 | 424 | 388 |
| その他 | 807 | 816 |
| 貸倒引当金 | △145 | △145 |
| 流動資産合計 | 2,922 | 2,808 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 8,734 | 8,513 |
| 土地 | 30,433 | 30,433 |
| その他(純額) | 266 | 298 |
| 有形固定資産合計 | 39,435 | 39,245 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,342 | 1,300 |
| その他 | 60 | 88 |
| 無形固定資産合計 | 1,402 | 1,389 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,428 | 2,457 |
| その他 | 687 | 364 |
| 貸倒引当金 | △0 | △0 |
| 投資その他の資産合計 | 3,115 | 2,822 |
| 固定資産合計 | 43,954 | 43,456 |
| 繰延資産 | 24 | 19 |
| 資産合計 | 46,901 | 46,284 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,736 | 1,707 |
| 短期借入金 | 1,700 | 800 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 3,867 | 3,930 |
| 1年内償還予定の社債 | 470 | 420 |
| 未使用商品券等引当金 | 311 | 298 |
| その他の引当金 | 52 | 50 |
| その他 | 2,844 | 2,894 |
| 流動負債合計 | 10,982 | 10,101 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 715 | 530 |
| 長期借入金 | 7,684 | 8,094 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 3,998 | 3,998 |
| 退職給付引当金 | 316 | 316 |
| その他 | 3,015 | 3,057 |
| 固定負債合計 | 15,730 | 15,997 |
| 負債合計 | 26,712 | 26,099 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成25年2月28日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 9,937 | 9,937 |
| 資本剰余金 | 2,290 | 2,290 |
| 利益剰余金 | 727 | 722 |
| 自己株式 | △107 | △110 |
| 株主資本合計 | 12,847 | 12,840 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 12 | 16 |
| 土地再評価差額金 | 7,328 | 7,328 |
| その他の包括利益累計額合計 | 7,341 | 7,344 |
| 純資産合計 | 20,188 | 20,185 |
| 負債純資産合計 | 46,901 | 46,284 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日) |
|--------------------|---|---|
| 売上高 | 12,645 | 12,220 |
| 売上原価 | 10,049 | 9,702 |
| 売上総利益 | 2,596 | 2,518 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,489 | 2,332 |
| 営業利益 | 106 | 186 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 7 | 2 |
| 持分法による投資利益 | 26 | 27 |
| 売場改装協力金 | 68 | 87 |
| その他 | 19 | 19 |
| 営業外収益合計 | 122 | 136 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 133 | 120 |
| その他 | 58 | 61 |
| 営業外費用合計 | 191 | 181 |
| 経常利益 | 37 | 140 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 11 | — |
| 特別利益合計 | 11 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 182 | 141 |
| 特別損失合計 | 182 | 141 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △133 | △0 |
| 法人税等 | 5 | 4 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △139 | △5 |
| 四半期純損失(△) | △139 | △5 |

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日) |
|--------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △139 | △5 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △5 | 3 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △0 | 0 |
| その他の包括利益合計 | △6 | 3 |
| 四半期包括利益 | △145 | △1 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △145 | △1 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △133 | △0 |
| 減価償却費 | 404 | 384 |
| のれん償却額 | 41 | 41 |
| 受取利息及び受取配当金 | △13 | △7 |
| 支払利息 | 133 | 120 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △26 | △27 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △11 | — |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 109 | 110 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 105 | 34 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △99 | △29 |
| その他 | 151 | △5 |
| 小計 | 660 | 620 |
| 利息及び配当金の受取額 | 20 | 14 |
| 利息の支払額 | △111 | △109 |
| 法人税等の支払額 | △5 | △13 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 563 | 512 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △0 | △0 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 125 | — |
| 有形固定資産の取得による支出 | △155 | △146 |
| 貸付金の回収による収入 | 28 | 383 |
| その他 | △49 | △39 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △51 | 197 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △660 | △900 |
| 長期借入れによる収入 | 1,900 | 2,400 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,920 | △1,926 |
| 社債の発行による収入 | 584 | — |
| 社債の償還による支出 | △360 | △235 |
| 配当金の支払額 | △0 | — |
| その他 | △8 | △25 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △464 | △687 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 47 | 22 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,347 | 1,264 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,395 | 1,286 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|---------|------------|--------|-------------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 百貨店業 | 不動産 賃貸業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 11,216 | 905 | 12,122 | 523 | 12,645 | — | 12,645 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 2 | 81 | 83 | 409 | 493 | △493 | — |
| 計 | 11,219 | 986 | 12,206 | 933 | 13,139 | △493 | 12,645 |
| セグメント利益又は損失(△) | △33 | 349 | 316 | △10 | 306 | △199 | 106 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、清掃業及び友の会事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△199百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△202百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門における費用等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|---------|------------|--------|-------------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 百貨店業 | 不動産 賃貸業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 10,867 | 847 | 11,714 | 505 | 12,220 | — | 12,220 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 2 | 73 | 76 | 373 | 449 | △449 | — |
| 計 | 10,869 | 921 | 11,791 | 879 | 12,670 | △449 | 12,220 |
| セグメント利益又は損失(△) | 82 | 292 | 374 | △9 | 364 | △178 | 186 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、清掃業及び友の会事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△178百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△181百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門における費用等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。